

# 54 ■ ミズバショウの池と新緑のシラカバ林に広がる鳥の声

## 池の平 (中頸・妙高高原町)

■環境：森林、湖沼  
 ■対象：家族  
 ■期間：5月中旬～10月下旬

残雪の残る妙高山を水面に映すいもり池周辺にはミズバショウが咲き競う。初夏、新緑のシラカバ林に小鳥がさえずり、カッコウの声がこだまする。

### <ミズバショウの群生する早春の池>

平野部でソメイヨシノが散り初夏を迎える5月上旬、いもり池周辺は妙高山の雪解け水にはぐまれてミズバショウが咲き競い、遅い春の到来を告げる。池の中の雪が消え、残雪を頂いた妙高山が水面に映える5月上旬からが野鳥観察のベストシーズンとなる。

いもり池に着いたらまず妙高高原ビジターセンターを訪ねてみよう。動植物、地学など妙高の自然について詳しく展示、解説してある。また池周辺で観察される野鳥の最新リストなども掲示されているので、ここで情報を得てから観察を始めよう。



初夏のいもり池と妙高山

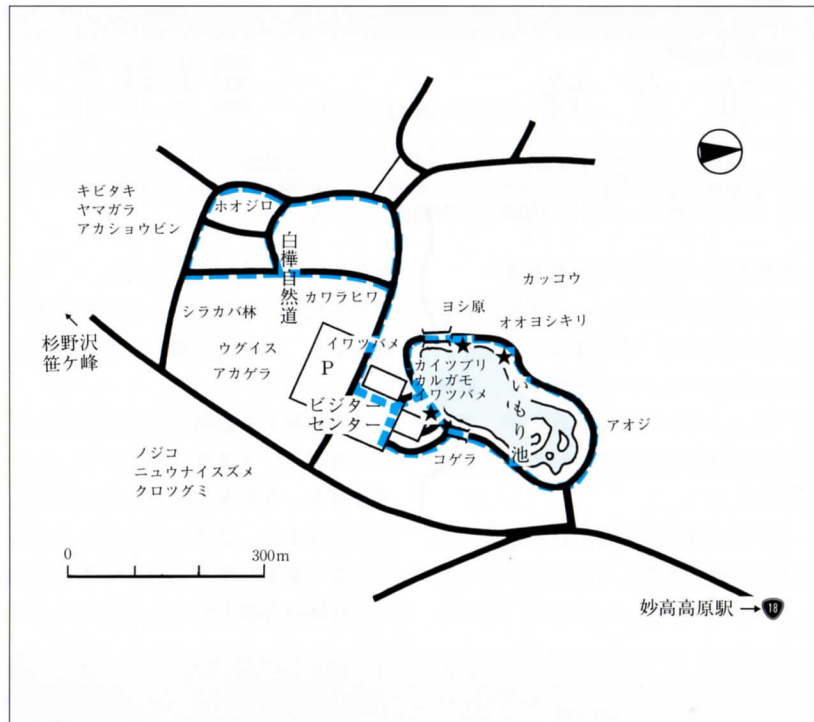
### <初夏の高原に響き渡るカッコウの声>

池を一周できる遊歩道は観察しながらゆっくり歩いても30分くらいで回ることができる。ヒツジグサの茂る池の中では繁殖期を迎えたカルガモや水中に潜って魚を捕るカイツブリを間近に観察できる。池周辺のヨシ原では、繁殖のため南から渡ってきたオオヨシキリのさえずりがにぎやかだ。上空にはイワツバメやツバメが飛び交い、カッコウやホトトギスの声が出ろくに響き渡る。

### <新緑のシラカバ林でさえずりを聞く>

いもり池付近一带にはシラカバ林が広がる。ビジターセンターを出て、杉野沢方面に折れたところの左右に広がるシラカバ林が最も観察しやすい。

新緑の季節、遊歩道に沿って歩くと留鳥のアカゲラ、アオゲラ、コゲラのキツキ類のドラミングの音がこだまし、エナガ、シジュウカラなどのカラ類や、サンショウクイ、クロツグミなど夏鳥のさえずりが響き渡る。沢沿いの水がしみ出している付近の低木ではさえずるノジコが多く見られる。また



コサメビタキ、センダイムシクイ、アカハラなど、より標高の高いところで繁殖する夏鳥たちも繁殖地付近の雪が消える5月下旬ころまでとどまるものがあり、絶好の条件が整う。

### <カヤバで繁殖する草原の鳥>

いもり池正面の山腹に広がる池の平スキヤ場は、夏季はスキなどの大草原(カヤバ)となり、ノビタキやホオアカ、ヒバリなど草原性の鳥が繁殖し、三ツ山上空にはノスリが舞う。

(岡田成弘)

### メモ

**交通** JR妙高高原駅下車、川中島バス、池の平経由杉野沢行き約15分「いもり池入り口」下車。車なら、国道18号線を長野方面に向かい町立妙高中学校交差点を右折し約5分。

☐ 妙高高原ビジターセンターに駐車場、トイレあり。ビジターセンターに隣接するレストランにもトイレあり。

**探鳥会** 夏休みにビジターセンター主催の自然観察会がある。問い合わせ先：妙高高原ビジターセンター

☎0255-86-4599